



薬と飲食物の相互作用について

薬同士の相互作用だけでなく、飲食物との相互作用もあります。今回は薬と一緒に飲食すると薬の効果が強く出たり、弱くなったりしてしまうものを院内採用薬を中心にご紹介します。


ミネラルを含むもの

外国のミネラルウォーターは水道水よりも多くのCaやMgなどのミネラル分を含んでおり、硬度の高いミネラルウォーターは避けることが望ましいです。キレート形成をしやすい下記の薬はマグミットなどのミネラルを含む薬とも相互作用を起こします。

	薬品名(一般名)	結果
 ミネラルウォーターや牛乳	ケフレックス顆粒(セファクロル)	吸収阻害(キレート形成) 吸収阻害を防ぐには 1~3時間ほど間隔を あけて服用・飲食を すればOKです。
	ジェニナック(ガレノキサシン)	
	トスフロキサシン	
	レボフロキサシン *ただし牛乳とは相互作用なし	
	ミノサイクリン	
	アジスロマイシン	
 牛乳	リセドロン酸Na	腸陽性コーティングが溶ける 高Ca血症
	オーグメンチン(アモキシシリン・クラバン酸)	
	マグミット(酸化マグネシウム) *大量の牛乳飲用時	
	エルデカルシトール *大量の牛乳飲用時	


緑茶・紅茶・コーヒー(カフェイン)

これらの飲み物などにはカフェインが含まれており、多量にお茶やコーヒーを飲む習慣がある人は要注意です。

	薬品名(一般名)	結果
 カフェインを含む飲料	クエン酸第一鉄ナトリウム	吸収阻害
	セレネース(ハロペリドール)	不溶性沈殿(血中濃度低下)
	セルシン・ホリゾン注(ジアゼパム)	精神運動作用に対し拮抗
	プロプラノロール	心拍数減少
	ワーファリン(ワルファリン)	抗凝固作用減弱
	テオフィリン	副作用増強


アルコール

アルコールと多くの薬は肝臓で代謝され、薬物代謝酵素の誘導・阻害が起こります。アルコールの代謝能は個人差があるため「〇時間経ったら体内からアルコールが消失している！」ということは具体的に言えません。また、薬との併用でアルコールがもともと持つ中枢抑制作用、血管拡張作用が増強することもあります。アルコールは薬剤との併用は原則避けてください。

	薬品名(一般名)	結果
 アルコール	睡眠薬・抗アレルギー薬・抗うつ薬・抗精神薬	中枢抑制作用増強
	抗てんかん薬・鎮咳薬	
	バイアスピリン	胃腸障害
	ワーファリン	作用増強
	カロナール	肝障害
	硝酸薬(一硝酸イソソルビド、ニコランジルなど)	血管拡張作用増強
	降圧薬	血圧低下


イチョウ

認知機能の向上効果が認められる機能性表示食品。

	薬品名(一般名)	結果
 イチョウ	チアジド系利尿薬(アゾセמידなど)	血圧上昇
	レスリン(トラゾドン)	昏睡状態
	ワーファリン	抗凝固作用の増強
	バイアスピリン	前房出血
	ハーブジゴキシン	血中ジゴキシン濃度の上昇

セント・ジョーンズ・ワート

「ハッピーハーブ」・「西洋オトギリソウ」と言われ、古くからヨーロッパを中心にうつ病の症状緩和として用いられてきました。サプリメントやハーブティーとして売られています。

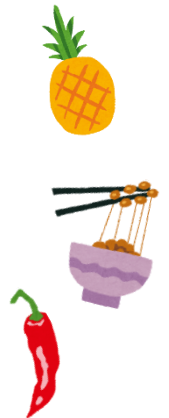
	薬品名(一般名)	結果
 セント・ジョーンズ・ワート	ネオオーラル(シクロスポリン)	血中濃度低下 薬物代謝酵素を誘導し、 薬の代謝を促進。 そのため薬の効果を弱め てしまいます。
	テオフィリン	
	グリベック(イマチニブ)	
	ワーファリン(ワルファリン)	
	ジゴキシン	
	イリノテカン	
	メサペイン(メサドン)	
	プログラブ(タクロリムス)	
	ロペラミド	
	パロキセチン	急性せん妄症状の発現 吐き気、衰弱、倦怠感

この他にも



飲食物	薬品名	結果
グレープフルーツ	降圧薬(Ca拮抗薬)	↑
コーラ	リウマトレックス	↑
カモミール	鉄剤	↓
納豆・緑黄色野菜(多量)・クロレラ	ワーファリン	↓
ニンニク	ワーファリン	↑
ウコン		
パイナップル		
チョウセンニンジン		
とうがらし	テオフィリン	↑

↑:作用強 / ↓:作用弱



ご紹介したものの以外にも飲食物・健康食品との相互作用は多数あります。今回調べた中でワーファリンはかなりの飲食物と相互作用があることが分かりました。どんな薬でも元々持っている薬効を発揮するために、予測される相互作用を最小限に防ぐ努力が必要であり、患者さんの嗜好品、健康食品等は持参薬と同様にチェックが必要です。「こんな飲食物・健康食品を使用している」ということがあれば報告いただくとありがたいです。



参考

- ・田辺薬品ホームページ
- ・飲食物・嗜好品と医薬品の相互作用 じほう
- ・内田信也ほか ぶんせき 2007;9:456-460

(薬剤部 池沢)